

地域再生計画の新旧対照表

変 更 前	変 更 後
<p>4. 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>これらを実現するため、<u>現在総務省の事業である地域再生マネージャー事業を実施して、市民ファンドを活用した企業組合による起業化を推進しているところであるが、創業にかかわる経営面でのノウハウの習得、中核的人材の獲得、求職者の技術能力の開発等が課題である。</u></p>	<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>これらを実現するため、<u>現在地域再生マネージャー事業と地域提案型雇用創造促進事業をリンクさせ推進中であるが、発酵・蒸留技術の活用を中心とした手づくりによる食づくり・酒づくりの起業の集積を図り、企業の受け皿の形成と雇用創出を継続的に目指すためには、地元の有明高専を中心とした高度の研究機関等の連携による産業育成や地域貢献できる人材の育成が課題である。</u></p>
<p>5. 目標を達成するために行う事業 5-1 全体の概要</p> <p>地域循環型スモールビジネスを創出するため、地域再生マネージャー事業を導入し、地域住民の活発的なコミュニティの形成と、地域にある豊富な原材料（特産品である梨、牛乳、海苔）を活用した空き店舗を使つての顔の見える手作り加工品の製造業の起業、法人化を推進する。</p> <p><u>また、その創業にかかわる雇用対策事業として支援措置であるパッケージ事業を活用し地域再生マネージャー事業と連携しながら、中核的、専門的人材の誘致活動、創業者に対する労務管理等の研修、求職者の能力開発等の取り組みを行う。</u></p> <p><u>さらに、創業やベンチャーなどの新事業への挑戦を促進し、スモールビジネスの新しい芽を育てるためのスタートアップ支援策として空き店舗活用に対する助成や、インキュベーション支援、産炭地域振興センターによるモデル育成事業によって、新規創業の促進を図る。</u></p>	<p>5. 目標を達成するために行う事業 5-1 全体の概要</p> <p>地域循環型スモールビジネスを創出するため、地域再生マネージャー事業を導入し、地域住民の活発的なコミュニティの形成と、地域にある豊富な原材料（特産品である梨、牛乳、海苔）を活用した空き店舗を使つての顔の見える手づくり加工品の製造業の起業、法人化を推進するとともに、<u>その創業にかかわる雇用対策事業として支援措置であるパッケージ事業を活用し地域再生マネージャー事業と連携しながら、中核的、専門的人材の誘致活動、創業者に対する労務管理等の研修、求職者の能力開発等の取り組みを行う。</u></p> <p><u>また、創業やベンチャーなどの新事業への挑戦を促進し、スモールビジネスの新しい芽を育てるためのスタートアップ支援策として空き店舗活用に対する助成や、インキュベーション支援、産炭地域振興センターによるモデル育成事業によって、新規創業の促進を図る。</u></p> <p><u>さらに、継続的な産業育成を図る観点から食品機械等の高度な専門技術の育成と市民と協働し地域に貢献できる人材づくりのため、現代的教育ニーズ取組支援プログラムを活用</u></p>

地域再生計画の新旧対照表

変 更 前	変 更 後
<p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 パッケージ事業による取組 (略)</p> <p>5-3-2 <u>旧プログラムに基づき既に設定されている取組</u> (略)</p>	<p><u>し、地元の有明高専を中心に関係大学、企業等の連携を推進する。</u></p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 パッケージ事業による取組 (略)</p> <p>5-3-2 <u>現代的教育ニーズ取組支援プログラム</u></p> <p>(1) <u>実施主体</u> <u>独立行政法人国立高等専門学校機構 有明工業高等専門学校</u></p> <p>(2) <u>実施年度</u> <u>平成18年度から20年度</u></p> <p>(3) <u>「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」を導入して実施しようとする事業内容</u> <u>有明高専は荒尾市の地域再生事業「地場産業と住民の共生対流による起業創造と雇用機会の増大」に協働し、まちなか研究室「青研」(中央商店街)及び「ありあけの里」(有明地区)の設立と運営に関り、まちなか研究室を起点とした地域貢献活動を行ってきたが、これらの活動を通して高齢化社会へ向けた地域内消費を支える産業の成立と維持という地域課題に直面した。そこで手づくりではあるが食・酒づくりの農業生産から製造、商品化、販売までの一連の工程を実践し、地域課題を見つけ工学的・学際的な解決策を見出すとともに、地域で起業できる人材育成を図る取組を提案する。また荒尾市は辛亥革命に協力した宮崎兄弟の生誕地で、孫文が亡命していた由縁から国際協力に関する地域資源がある。本校は国際性に富む実践的な高度技術者を育成する高専として食・酒づくりの中で経験するコミュニティ活動を通し国際協力に広い視野を持てる人材育成に取り組む。具体的内容として、従来の学問・教育領域を超えて新たに「地域協働科目」を構築することで、地元</u></p>

地域再生計画の新旧対照表

変 更 前	変 更 後
<p>5-3-3 支援措置によらない独自の取組 (略)</p>	<p><u>自治体や企業で活躍できるような地域の課題解決を担う人材や地域や国際社会で自考・自立できる人材を実践的に育てることを目的とする。このためまちなか研究室を起点に地域の企業や市民と連携した課題解決型の実践教育を行い、地域で育む教育環境づくりを進める。</u></p> <p><u>具体的な内容としては、地域協働科目を新たに設け学科共通で行うこととし、かつ有明高専教員と市民が担当する「地域課題プロジェクト」、有明高専が横断的に取組む実習「教養教育・専門科目」、学際的テーマのため専門性を有する他大学等の教員が担当する「教養教育・基礎科目（新設）」を設置する。</u></p> <p>■ <u>地域課題プロジェクトについて</u></p> <p><u>有明高専のカリキュラムは、まちなか研究室の活動のような外部に出て活動する時間が取れにくい状況にあった。地域課題プロジェクトは荒尾市が抱える地域課題をまちなか研究室に出て授業として地域を考えるものである。</u></p> <p>■ <u>教養教育・専門科目について</u></p> <p><u>地域課題を踏まえた工学的解決策を考え、専門科目実習を通し提案する。</u></p> <p>■ <u>教養教育・基礎科目（新設）について</u></p> <p><u>国際協力、ものづくり、起業支援とプログラムの基礎となる科目は専門性を有する大学・研究機関、企業と学外連携し教育プログラムを実施する。</u></p> <p>5-3-3 <u>旧プログラムに基づき既に設置されている取組</u> (略)</p> <p>5-3-4 支援措置によらない独自の取組 (略)</p>

地域再生計画の新旧対照表

変 更 前	変 更 後
<p>6. 計画期間 設定の日から平成19年度末まで</p> <p>7. 目標達成状況に係る評価に関する事項 毎年度ごとに中間評価を行い、事業を利用した企業数、求職者数、起業化した法人数、新規の雇用人数を検証し、期待された成果に対する達成度合い及び実施過程の効率化などについて改善見直しを行う。事業評価としては、事業によってもたらせた住民への成果等について検証し、施策の改善、見直しや新たな施策の展開に反映させる。</p>	<p>6. 計画期間 設定の日から平成20年度末まで</p> <p>7. 目標達成状況に係る評価に関する事項 地域提案型雇用創造促進事業については、毎年度ごとに中間評価を行い、事業を利用した企業数、求職者数、起業化した法人数、新規の雇用人数を検証するとともに、現代的教育ニーズ取組支援プログラムについては学内外のメンバーで構成される評価検証委員会（事務所：有明高専と荒尾市役所農林水産課地域再生担当で構成）を設置し、プログラムの具体的な方針設定とプログラムの進行に応じたチェックを行い、期待された成果に対する達成度合い及び実施過程の効率化の改善などを評価する。</p>